

◇会議報告◇

米国財務会計基準審議会（FASB）との 第 32 回定期協議の概要

ASBJ 専門研究員 花澤 徳裕

1. はじめに

企業会計基準委員会（ASBJ）は、2023 年 4 月 17 日に米国財務会計基準審議会（FASB）との間で、第 32 回定期協議をノーワークで実施した。ASBJ からは川西委員長、中條常勤委員、山口常勤委員及び筆者が参加した。FASB からは、Richard R. Jones 議長、James L. Kroeker 副議長、Hillary H. Salo テクニカル・ディレクターのほか、議題に応じて Christine A. Botosan 理事、Frederick L. Cannon 理事、Susan M. Cospers 理事及び担当スタッフが参加した。

なお、文中の筆者の意見にわたる部分は、各人の私見であり所属する団体・組織の見解ではない。

2. 全体のスケジュール

日 程	議 題
4 月 17 日	近況報告等
	概念フレームワーク：認識及び認識の中止
	国際的な税制改革—第 2 の柱モデルルール
	単体財務諸表
	暗号資産
	リース

3. 議事概要

(1) 近況報告等

FASB 及び ASBJ の双方の代表者より近況報告がなされ、意見交換が行われた。

FASB の代表者からは、次の項目を中心に報告と議論がなされた。

国際関連情報

- 最近公表された会計基準更新書（Accounting Standards Update (ASU)）
- 主要なテクニカル・アジェンダのプロジェクトの状況
- セグメント報告
- 損益計算書における費用の分解表示
- 最近の市場／経済状況

ASBJの代表者からは、次の項目を中心に報告と議論がなされた。

- 現在の日本基準の開発状況
- 国際的な活動
- サステナビリティ報告

(2) 金融商品を取り巻く市場及び経済の状況

FASBの代表者より、満期保有及びキャッシュ・フローの回収を目的とするビジネスモデルを含む金融商品を取り巻く市場及び経済の状況に関する報告と議論がなされた。

(3) 概念フレームワーク：認識及び認識の中止

ASBJの代表者より、FASBが2022年11月に公表した公開草案「財務会計概念書第8号第5章 認識及び認識の中止」に関するASBJスタッフの考察が示され、議論が行われた。

(4) 国際的な税制改革—第2の柱モデルルール

ASBJの代表者より、第2の柱モデルルールの適用における法人所得税の会計処理に関するASBJスタッフの考察が示され、議論が行われた。

(5) 単体財務諸表

日本の法定開示制度下における親会社の単体財務諸表の簡素化に関するASBJスタッフの考察について、議論が行われた。

(6) 暗号資産

ASBJの代表者より、暗号資産についての次の論点に関するASBJスタッフの考察が示され、議論が行われた。

国際関連情報

- ステーブルコイン（ASBJ が開発中の資金決済法上の「電子決済手段」に関する論点）
- 暗号資産の貸出取引

(7) リース

ASBJ の代表者より、リースについての次の論点に関する ASBJ スタッフの考察が示され、議論が行われた。

- 入替権
- 米国会計基準 Topic 842 「リース」の適用後に識別された課題

4. 次回の予定

次回の定期協議は、2023 年の後半に東京で開催することが予定されている。

FASB オフィスで記念撮影





以上